

家園

字体作者：周 慧琚

第9号



NPO法人 中国帰国者・日中友好の会
〒110-0016 東京都台東区台東 4-23-11
川口工商ビル1階
TEL：03-3835-9357 FAX：03-3835-9358
<http://www.ab.auone-net.jp/~jc-yuko>



舞踊～「中国のお母さん」

撮影：(二田口国博)

目 次

★ 「感謝と期待」-祝賀 NPO 法人「中国帰国者・日中友好の会」設立五周年	2
★ 本会活動写真	3・4
★ 本会活動写真	5・6
★ 五年間活動報告(2008 年～2014 年)	7
★ 五年間活動報告	8
★ ボランティア先生からコメント	9・10
★ 「我らの使命」(帰国者三世)	11
★ 「活動記録」・「お知らせ」・「編集後記」	12

感谢和期待 (池田澄江)

2007 年、当日本国会通过了中国残留孤儿生活新支援政策后，始终致力帮助归国孤儿的辩护士河合弘之先生明确表示：团结起来的孤儿们不能散了，今后为了日中友好事业要继续把大家组织起来。因此，开始了本会成立的筹备工作。

2008 年 5 月 NPO 法人「中国归国者日中友好之会」正式成立。本会从无到有，从小到大已经迎来了第五个年头。

这里我们十分感谢全体会员的通力合作，并积极参加“中国残留孤儿之家”的各个教室的学习和活动。同时我们真诚地感谢担任教学的各位老师。他们不拿一分钱的报酬，精心备课，细致耐心地指导每个学员。

我们衷心地感谢中国住日本大使馆五年来给予我们的帮助和爱护；感谢日本社会友好团体和友人给予我们的支援和交流。

尤其要衷心地感谢律师团的各位有正义感的律师们放下自己的工作，不计得失，在用法律的手段为我们孤儿伸张正义的同时，还通过各种渠道疏通关系，促使日本政府逐步解决归国孤儿的生活支援问题。在共同战斗的十一年时间里，律师团的律师们也和归国孤儿们建立了淳朴深厚的感情。

无论日本政坛如何风云变幻，野田毅，中谷元以及漆原良夫先生等国会议员们一直同情，关切归国孤儿们的命运，并借助他们的地位呼吁，联络各方，为解决孤儿的生活支援和配偶者的生活支援起到了及其重要的作用。

广大归国者的一生牵系在日中两国之间，我们责无旁贷地应该为日中友好贡献力量。今后将坚定日中友好的信心，做两国友好交流的桥梁，纽带。酿造友谊，消弭紧张。期待友好是日中两国永恒的主题，我们期盼着日中友好的春风早日吹来。



感謝と期待 (池田澄江)

2007 年、日本の国会で「中国残留邦人新支援政策法」が可決された時、長年にわたり、中国帰国者を支援してこられた河合弘之先生が「これまで団結した帰国者たちは解散しません。これからは、日中友好の懸け橋として更に団結しましょう」と提案され、NPO の設立準備が始められました。

ゼロからスタートした NPO 法人「中国帰国者・日中友好の会」は、年々発展を遂げ、五年目を迎えました。

本会を支え、「残留孤児の家」の学習活動に積極的に参加してくださっている会員の皆様に感謝します。また、一生懸命に授業・指導をして下さるボランティアの諸先生方に心から感謝を申し上げます。

中国大使館、民間友好諸団体、友人の皆様の多大なご支援とご協力に心から御礼を申し上げます。

特に、自分たちの損得を考えず、法的手段に訴え「新支援政策」と「配偶者を支援する法案」を勝ち取ってくださった正義感にあふれる弁護士の方々に深く感謝いたします。十一年間一緒に戦う中で、原告団と弁護団の絆は固く結ばれました。

また、日本の政界にどんな風が吹こうとも変わることなく中国残留孤児に関心を持ち、政界各方面の了解を取り付け「新支援政策」と「配偶者支援政策」の成立に尽力して下さった国会議員の野田毅先生、中谷元先生、漆原良夫先生等諸先生方に心から御礼を申し上げます。

全国の帰国者は、日中両国と切り離すことはできません。私たちは、一生涯をかけて日中友好の懸け橋として、日中友好のために貢献したいと思っております。友好が「日中両国の永遠のテーマ」となり、友情を培い、日中友好の春が早く来るように祈念しております。最後になりましたが午年の今年、皆様のご活躍とご健康ご多幸をお祈りしております。

本会活動写真



北京の中南海紫光閣で中国残留孤児謝恩団を迎える温家宝総理

帰国者の募金で建てられた「希望小学校」



餃子工房オープン



養父母の感謝会



駐日中国大使館官員の送別会



中国「赤十字会」 官員来訪



会 員 旅 行



地域交流「手作り餃子見学・試食会」



国会議員中谷元先生来訪



音 楽 発 表 会



東日本大地震被災地に手作り餃子を届ける



上野公園にて花見会



弁護士団主催した活動に参加



教室風景



NPO 法人・中国帰国者 日中友好の会

創 立 5 周 年 活 動 記 録

(2008 年 3 月～2014 年 1 月)

2008 年

- 3 月、「さくら共同法律事務所」にて、河合弘之先生のご指導を頂き、本会の設立準備を開始。
- 5 月 13 日、設立総会を開催。
- 9 月、東京都に申請し、「NPO 法人・中国帰国者 日中友好の会」が認定されました。
- 10 月、新橋・善隣会館で、日本語教室、書道教室及び他の活動を実施。

2009 年

- 2 月 4 日、日本財団会館で、「NPO 設立報告集会」を開催。その背景には、長年にわたる裁判闘争の中で、帰国者同士はお互いに助け合い、友情を深め、固い絆を結んできたことにあります。また、裁判に多大なご尽力を賜ったボランティア団体、市民団体、支援組織との間にも友好と交流の関係が結ばれました。裁判が終結してもこの協力し合う精神を継承して、新支援政策の円滑な執行やいっそうの拡充のために、さらに帰国者の特殊な立場や体験を活かして日中両国の平和友好のために、「NPO 中国帰国者・日中友好の会」が発足しました。国会議員、弁護士先生、中国大使館総領事、民間団体など多数の方がご臨席くださいました。
- 5 月、東京都台東区 4 丁目のビル 1 階と地下 1 階を残留孤児帰国者とその二、三世たちは自らの手で改装工事をして、2 カ月あまりで「中国残留孤児の家」が完成。
- 6 月 24 日、会員たちの努力の結果、新しい事務所に移転しました。
- 6 月 27 日、特定非営利活動法人「中国帰国者・日中友好の会」第一回定期総会を開催しました。
- 7 月 20 日、港区芝浦港南区民センター で「二、三世就職支援交流会」を開催。
- 9 月 1 日、「中国残留孤児の家」の開所パーティを開催。
同時に、NPO のパンフレットを完成、ホームページを立ち上げました。
- 9 月 29 日、NPO の池田理事長が北京で「中華人民共和国建国 60 周年式典」に出席しました。
- 10 月 1 日、パソコン教室、中国語教室、音楽教室を開講。
- 11 月 8 日、「中国養父母への謝恩」のため 60 人で訪中団を結成し、中国のハルビン市、北京市を訪問、北京の中南海紫光閣で中国の温家宝総理と面談ができ、歴史的な栄光ある一頁となりました。

2010 年

- 1 月 30 日、NPO と原告団が「新年会」を共同で開催。
- 4 月 1 日、日本舞踊教室、楽器教室、パソコン教室(中級)を増設。
- 5 月 18 日、86 人で中国四川省を訪問し、中国帰国者の寄付金で建設された「日中友好太山村小学校」の開校式典に出席。

- 5 月 30 日、中国の温家宝総理が訪日、八団体の一つとして、温総理から当 NPO に「日中友好貢献賞」を頂きました。
- 6 月 11 日、山形県から 33 名の中国帰国者が当 NPO「中国残留孤児の家」に来訪し、東京の帰国者と交流。
- 6 月 18 日、長い準備の末、NPO「餃子工房」を開業しました。
- 6 月 27 日、NPO 第二回定期総会を開催。
- 12 月 19 日、中国赤十字総会の代表が NPO を訪問。

2011 年

- 1 月 9 日、中国四川省眉山市の楊玉仙副市長一行が「残留孤児の家」を訪問。
- 1 月 23 日、NPO と原告団が共同で「新年会」を開催、同時に、再び「日中友好太山村小学校への寄付金」の募金活動をしました。
- 3 月 11 日、東日本大震災に、NPO・原告団・東京連絡会の三団体で共同募金を実施、全国の帰国者に義援金を呼びかけると同時に第一回目は、100 万円を赤十字に送金、その後も送金を続け、合計 380 万円の義援金を寄付。
- 4 月 5 日、6 日、7 日、「中国残留孤児の家の餃子工房」で作った 9000 個の水餃子と 14 名の帰国者を乗せた大型バスは一晚かけて岩手県陸前高田市の避難所に向かい、翌日、現地で炊きだしに参加して、熱々の水餃子を被災者に届けました。
- 4 月、NPO の会報として「家園」創刊号を発刊。
- 5 月 29 日、NPO 第三回定期総会を開催。
- 6 月 14 日、NPO で、中国駐日本大使館総領事交替の歓送迎パーティーを開催。
- 7 月 1 日、NPO は新たに来日した「中国残留孤児安藤さん世帯」を初めて身元保証人として受け入れました。
- 7 月 4 日、NPO は「中国帰国者の墓地管理」業務を引き継ぎました。この墓地は、河合弘之先生の出資で建設され、1991 年の除幕式では、海部首相が墓牌に「中国帰国者之墓」と題詞を記しました。
- 7 月 18 日、上野日比谷公会堂で、小野寺先生が主催した「非核・平和をうたうつどい」を応援するため、NPO から 40 名の帰国者が参加。
- 10 月 7 日、8 日、震災後の復興のため、NPO が「千葉県銚子旅行」を企画しました。157 人が参加しました。

2012 年

- 2 月 26 日、「新年会」を開催しました。300 人が参加しました。
- 5 月 11 日、12 日、福島県被災地の観光事業の復興のために福島のハワイアンズへの旅行を企画しました。79 名が参加しました。
- 6 月 17 日、NPO 第四回定期総会を開催しました。
- 7 月 23 日、引き続き、中国四川省の「日中友好小学校」の募金を行い 174 万円が集まりました。
- 9 月 24 日、「日中友好正常化 40 周年」を記念するため、10 月 10 日に訪中予定でしたが、延期→中止しました。

2013 年

- 1 月 20 日、台東区民センターで「新年会」を開催しました。
- 2 月 17 日、帰国者と二、三世との交流を深めるため、NPO で懇親会を開催しました。28 名の二、三世が参加しました。

2 月 28 日～3 月 2 日、帰国者の交流を深めるため、NP0 の 94 名の会員は関西の帰国者たちと発表会を開催しました。東京・京都・大阪の帰国者が一堂に会し、歌と踊りを披露しました。

6 月 15 日、台東区民センターで第五回定期総会を開催しました。

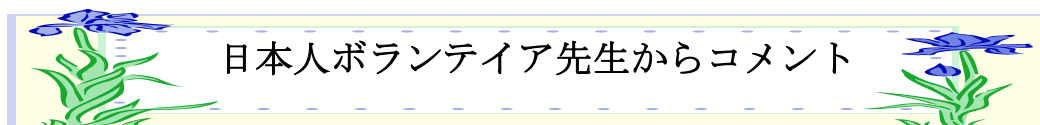
7 月 14 日、東京江戸川区総合文化センターで NP0 による「中国帰国者発表会」を開催しました。

11 月 12 日、首相官邸で、25 名の中国残留孤児代表及び配偶者が安倍総理と面談しました。

12 月 8 日、NP0 と他の諸団体と共同で「帰国者祭り」を開催しました。

2014 年

1 月 18 日、台東区民会館にて「新年会」を開催しました。



日本人ボランティア先生からコメント



東村孝子 先生 （日本語教室）

日本語教師をしていた友人から紹介されて日本語教室のお手伝いをしています。

私は 1978 年に初めて訪中団のメンバーとして、2 週間ほど中国を訪問、その後仕事をしながら中国語の勉強をしていました。

当時の中国語の先生の勧めで、残留孤児にみなさんが 81 年に肉親さがしに初来日時に、代々木の宿舎を訪問したこともあります。少しでもお役に立てばと思いましたが、会場のみなさんの緊張感に圧倒されて、残念ながらなんのお手伝いもできませんでした。

その時の状況はテレビで放映されて、日本中に大変な衝撃がはしりました。

私は母と祖母との北朝鮮からの引き上げ家族でしたから、母は人ごととは思えず食い入るようにテレビの画面を見ていました。

そのような経緯がありましたので、日本語教室のお手伝いができることはとてもうれしくと思っています。

受講者のかたは帰国して長期在住者の方が多く日本語の読解力、聴解力は受講しているひとが考えているより高く、最近は高齢者川柳、新聞の投稿などの教材にチャレンジしています。日常の会話は苦手と感じている人が多いようです。そんなに不自由はないはずなのです。“不要怕说错、多多练习说日语吧”。

これからも一緒に楽しく勉強をころがけていきたいと思います。

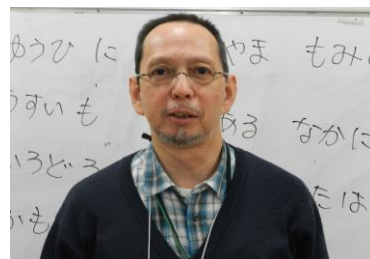


津川公栄 先生 （パソコン教室・日本語教室）

中国帰国者・日中友好の会が設立 5 周年、おめでとうございます。パソコン講座・日本語講座ともに、皆さんの熱心な勉強ぶりには頭が下がります。これからも皆さんの学ぶことへのお手伝いがすこしでもできればと思います。今後もますますのご発展をお祈り致します。

大島修三 先生（日本語教室）

昨年から、皆さんとの日本語授業を、楽しくさせていただいています。毎週水曜日の午前中、ラジオ体操とお遊戯で始まる私の授業。楽しんでいただいていますか？友人二人と交替で先生役をやっていますが、担当の期間、毎週水曜日がとても楽しみです。皆さんの笑顔と一生懸命な姿にお会いできるからです。これからもよろしくね！！

**能勢ハエス 先生（舞踊教室）**

中国帰国者・日中友好の会の年を迎えられました事、

中国語で挨拶すら話せないせんが、笑顔で皆さんの頑張けられました。

NPO の会員たちは幼い時のに明るく振舞っている間に励まし合って、技芸向上と健康を目指しております。苦しかった時代をわすれて、少しでも幸せになってください。舞踊教室はとても楽しいです。皆さん、NPO の会員たちが稽古に夢中な姿を一度見学して下さい。NPO のますますの発展を願っております。



が発足して5周年という節目おめでとうございます。

私です。舞踊の説明は、できまっている姿を見て、私は勇気づ

から悲しみに耐えて、生きています。皆が一生懸命練習して、仲間

福田昭生 先生（日本語教室）

中国帰国者・日中友好の会の設立5周年、おめでとうございます。私は日本語教室を通じて当会を知りました。中国残留孤児の問題は、小説「大地の子」（原作・矢崎豊子）やNHKのドラマ「遥かなる絆」（原作・城戸久恵）などから、その苦難に満ちた過酷な歴史を知っていました。しかし、当会を知って、それが過去の問題ではなく過去につながる

現在の問題でもあることを学びました。戦争を知らない世代ではありますが、過去の戦争の歴史、その悲劇を繰り返さないよう、思いを新たにしています

中西正光 先生（日本語教室）

設立五周年 おめでとうございます。

二時間の授業を終えて帰るときには生徒の皆さんが元気になっているといいな、と思って日本語の授業をしています。帰るときには私も元気になっています。これからも楽しく学んでいきましょう。



《我们的使命》 帰国者三世：志村正博

从 2001 年参与**国家賠償訴訟原告団**活动开始，我就和「中国帰国者・日中友好之会」结下了不解之缘。参与了翻译呀，联欢会上音响，灯光调节等服务性工作。我很荣幸和大家一起经历了多年的风风雨雨，不仅让自己学到了很多，也丰富了自己的人生。

为什么要参与活动呢？其实理由很简单，自己作为一个归国者的后代。我们肩负着使命，有责任为这个群体做点什么。**賠償訴訟**的原告团起步时也正好缺人手帮忙。所以我做了一些力所能及的事。当年为了掀起社会的舆论，让政府和日本和国民，知道我们这个群体的存在，原告团实施人海战术。我们在都内的各大繁华地点发传单，还在众人举目的国会前搞了多次大型的游行活动。我也积极地参加了这些活动。当时我的根据地是巢鴨，在那里发传单，拿着喇叭向来往的人流宣传。这些活动让我深感在这个和平的国度里呼吁战争的危害，关注残留孤儿是一件多么难的事。现在回想当时是很辛苦，但那些活动触动了

政府，促使他们开始正视孤儿的生活现状。也让我通过这些经历又坚定了对组织的信心，虽然我们是一个小的群体，小的呼声，但我深信星星之火可以燎原。我们最终还是取得了胜利。

现在归国者们在 NPO 组织的开展日语学班，舞蹈学班，合唱学班等多项娱乐活动。还举办大型发表会，给大家提供了一个自我的展示的机会。每次归国者发表会上我们都邀请各界的重要人士，而且对外开放，很多日本民众都来观看。有效地促进了民间交流。让我们这个群体在日本这片土地上扎住了根。

但我们的组织也面临着许多新的问题，在众多问题里我认为最大的问题就是组织的发展问题。如何把这个组织子子孙孙延续下去，是当今最需要考虑的问题。我们有责任做这个社会的警钟，为了不再发生战争，不再出现孤儿，我们必须要把组织延续下去。所以我希望能有更多的归国者二代，三代为这个群体，为我们的组织，做一些实实在在的事情。

我らの使命

私は 2002 年から国家賠償訴訟原告団活動に参加し、通訳や、交流会で音響やライトを担当しました。帰国者の皆さんと長年にわたり一緒に苦労を重ね、多くのことを学び、人生が豊かになったことを光栄に思います。

活動に参加するようになった理由は簡単です。私が残留孤児の子供だからです。原告団のために使命感と責任感をもって何かをしたいと思ったのです。原告団は人手不足でした。だから力の限りががんばりました。当時、世論を興し政府と日本人たちに私たちの存在を知らしめるため、原告団は人海戦術を凝らして、都内の繁華街に立ちビラを配り、人目を引く国会前で大型のデモ行進をしました。私も巢鴨に活動拠点を置き、ビラを配り、往来する人々に訴えました。この活動を通して分かったことは、この平和な国で戦争による危害を伝え残留孤児に注目してもらうことが非常に難しいということでした。

思い返してもすごく大変でしたが、この活動は政府を動かし孤児の現状に目を向けさせることができました。同時に私は、小さな集まりはやがて大きな声となり勝利を勝ち取ることができるという固い信念を持ちました。

今、帰国者は NPO が開講した日本語教室、ダンス、合唱など多くの活動に参加しています。さらに発表会では、学んだことを舞台上で披露しています、自己アピールをする場ともなりました。毎年開く新年会や帰国者まつりでは各界の著名人を招き、たくさんの日本人が来てくれます。民間交流が促進されることで帰国者は日本にしっかりと根を張ることができました。

そうは言っても、NPO は新しい問題を多く抱えています。今一番考えなければならないのは、どうやって次世代に団体を継続させていくかです。この団体は多くの使命を背負っていますから、一代だけで終わらせることはできません。

だから、多くの二世、三世は受け継いでいって欲しいのです。

NPO 法人「中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (2013 年 9～2014 年 1 月)

11/12	为争取配偶者生活支援政策在国会得到通过、归国者们在众议院举行了集会归国者代表、配偶者代表受到安倍总理大臣的接见	配偶者生活支援策成立できるように衆議院で帰国者集会行い、安倍総理が帰国者代表、配偶者代表を面会頂きました。
12/08	2013 年帰国者祭り 12 月 8 日在東京都江東区民中心举办。本会的节目受到了大家的好评。	江東区の総合区民センターにて 2013 年帰国者まつり開催、当会の出物がいい評判に浴びました。
12/18	本会在東京都西新井の中華料理店大福源举办了 2013 年忘年会。	当会は東京都西新井の中華料理店「大福源」にて 2013 年の忘年会を行いました。
1/18	本会一年一度的新年会在台东区民会馆召开，200 多名会员和原告团成员参加。	当会は毎年恒例の新年会を行いました、200 名以上の会員と原告団メンバーが参加しました。



お知らせ

- ※ 3 月末 上野公園で桜の花見
- ※ 3 月 17 日～19 日広島へ帰国者交流
- ※ 4 月残留孤児の二・三世交流会
- ※ 5 月四川省仁寿县始建镇太山村中日友好小学校访问
- ※ 6 月本会の第六回定期総会

《家園》編集委員 (第 9 号)

白 山 明 徳 ・ 河 村 忠 志
二 田 口 国 博 ・ 王 莉
春 曉 ・ 王 懷 林
レイアウト 周 防 恋 子

編 集 後 記

街头依旧严寒料峭，绿芽苞蕾静候在阳光里等待着勃发。

在我们高兴地迎接新年之际也迎来了本会创立五周年。同贺共喜，奋进向上。